

小松節子の
ハートフル
メッセージ



アフターサミットに向けて

来年5月、岸田文雄首相の地元である広島市で先進7カ国首脳会議（G7広島サミット）が開かれます。とりわけウクライナ情勢が緊迫化している中で、世界平和の構築に向けて、被爆地広島から、力強い平和のメッセージが発信されることに大きな期待を寄せています。

平和への思いを強く持っているのは、私が被爆2世だからです。私の母親は、広島市の横川町で被爆、倒壊した家の隙間にいて九死に一生を得ました。当時の悲惨な状況は、母親の脳裏から離れることがなく、「戦争を絶対に起こしてはいけない」と繰り返し、話して聞かせてくれました。

広島サミットと重なる

来年は、私が副会長を務める広島アセアン協会が設立10周年を、日本とアセアン10カ国の友好協力50周年を、それぞれ迎えます。その意義ある年に、アフターサミットとして、アセアン10カ国の駐日大使を広島に招いて会議を開き、交流を深めたい、と思っています。10カ国の駐日大使たちと広島の地で平和への思いを共有し、広島県とアセアン10カ国の物産展を開くことも計画しています。

広島サミットと同じように、駐日大使との会議後も、一過性で終わらせないことが大切になります。広島とアセアン諸国との間で、経済や文化、教育などの連携が深まるよう努めていきます。（メンテックワールド社長）